

耐力をもった自立した子ども

桂川小学校校長 辻秀志

学校の方針は、「子どもたちの学力・体力・生活習慣を向上させること」です。そのためには、子どもたちに高い目標を持たせ、目標に向かって鍛えていきます。教職員が力を合わせ、同じ方向に向かって共に頑張ります。

【学力の基礎を培う取組】

- ① はげみタイム（朝15分間の国語・算数プリント学習）の実施
- ② 暗唱の徹底（2月土曜授業で発表）
- ③ 校内スポコン大会（12月土曜授業で開催）の実施
- ④ 一分間計算・一分間音読を日常化して鍛える取組

【人間関係の育成・生活習慣確立】

- ① 道徳の授業を中心に授業研究実施（全教科で人間関係を育成）
- ② 「桂川小学校の約束」の徹底
- ③ 「早寝・早起き・朝ご飯」運動

VOL.60

今年一年間
 こんなことを中心に
 頑張ります！

なわとびで鍛える桂東っ子

桂川東小学校校長 諫山秀代

「学校は勉強するところ」

集中して勉強に取り組むには体力・持久力が必要です。

桂川東小学校の新体力テスト調査結果はほぼ標準です。これを維持・向上させるために今年度から「桂川東小学校なわとび検定」の取組で鍛えていきます。

「なわとび大会」はこれまでも

- なわとび検定カード活用
- 一年通してチャレンジ
- なわとびタイムの設定
- 3学期に「なわとび大会」

などの取組を行ってきましたが、大いに盛り上がり、低学年でも10分間跳び続ける子が数名います。一年を通してこの取組を行うことで、体力・持久力を維持・向上させていきます。

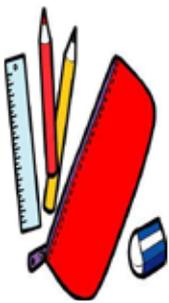
生きる力Ⅱ 学業

桂川中学校校長 安永保之

本年度は、キャリア教育についての進路指導研究大会を9月27日、人間関係調整力の育成について人権教育の系統的指導プログラム開発研究発表を10月25日に予定しています。この発表で共通していることは、生徒に生きる力をつけることです。

挨拶運動、職場体験、立志式などの取組が、教育課程の中でどのような有効性と系統性があるのか。また、基礎・基本の習得のために短時間の繰り返し学習を毎日行い、定着の確認テスト等を月・木曜日に行う取組。これに家庭学習の充実の取組を重ね、どこまで生徒の達成感を高められるか。

研究発表は本校の取組を整理する機会でもあります。多くの方に指導と助言をいただきながら、どこまで生徒の生きる力を伸ばすことができるか努力を重ねていく所存です。



「運動遊び」と

「花や野菜の栽培活動」の取組

桂川幼稚園園長 長野陽一

桂川幼稚園では、「運動遊び」と「花や野菜の栽培活動」の2つを教育活動の大きな柱として、「やればできる」という自信と仲間意識を育てていきたいと思えます。

運動遊びでは、毎朝、運動場で全員体操をします。その後は、各クラスで年齢に応じて、かけっこ、鉄棒、登り棒など体を動かすようにします。また、他にも運動遊びを充実させるために講師を招き、十分に体を動かす機会をつくるようにしています。

花や野菜の栽培活動では、一年を通じてたくさんの花や野菜を栽培します。種蒔きから苗の植え付け、収穫までの世話は、できるだけ園児の手で行い、自然に対する興味・関心を高めていきます。そして、今年もみんなが収穫の喜びを味わいたいと思います。

